



2024年5月31日

各位

会社名 RPAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 高橋 知道
(コード番号：6572 東証プライム)
問合せ先 取締役 松井 哲史
(TEL 03-5157-6388)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2023年5月31日に、プライム市場における上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2024年2月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2024年2月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合していません。当社は、流通株式時価総額について2026年2月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 及びその推移	2023年2月末時点	10,660人	226,963単位	67億円	36.6%
	2024年2月末時点	10,644人	221,132単位	59億円	35.5%
プライム市場 上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35%
計画期間		適合	適合	2026年 2月末	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価 (2023年5月31日～2024年2月末)

当社は、「流通株式時価総額」が基準に未達となった状況を踏まえ、時価総額を向上させるとともに、株式市場で適正な評価を得ることが課題と捉えております。この課題を解決するため、①事業

の成長及び収益力の強化、②流通株式比率の向上、③IR・PR活動の充実に取り組んでおります。

① 事業の成長及び収益力の強化

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!Lite」、「BizRobo!mini」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長、ストック収入比率も高水準を維持しております。解約率は引き続き低位で推移しております。

「RoboRobo」においては、「RoboRobo コンプライアンスチェック」の無料トライアル・有料スポット利用ユーザー含むユーザーは順調に拡大、引き続きユーザー獲得を進めるとともに、オンボード、定着化支援により、トライアルから有料化・サブスクリプション化への引き上げを図り、リカーリングレベニューが増加しました。

ロボットトランスフォーメーション事業においては、取扱いシェア拡大に向けた取り組みが奏功し、人材カテゴリ及び新規参入分野の取扱高が順調に成長し、取扱いシェアを高めたプログラムでは手数料率も一部改善したものの、一部プログラムのキャンペーン案件が停止したことにより、売上高は前年比で減少しました。

各事業において、将来の成長に向けた人材採用、プロモーション、プロダクト開発等の投資を進めるも、事業の拡大による売上高の成長、利益率の改善により、営業利益は 520 百万円と計画を上回ることとなりました。

② 流通株式比率の向上

当社は、「流通株式比率」について 35.5%とプライム市場の上場基準に適合しておりますが、昨年から 1.1%減少しております。「流通株式比率」の安定的に維持し、当社株式の流動性を一層高めるための資本政策の実施等あらゆる施策を検討してまいります。

③ IR・PR活動の充実

当社事業の強みや事業方針、将来における成長可能性を評価いただくことで、より多くの投資家に当社株式への投資を検討いただけるよう、以下の取組みを中心として IR・PR 活動の充実に努めてまいりました。これらの取組は継続して実施してまいります。

- ・ 決算説明資料、株主総会招集通知及び適時開示資料等の英文開示
- ・ ホームページ等における IR コンテンツの拡充
- ・ 当社グループの PR 情報その他の任意開示事項の積極的な情報発信
- ・ 機関投資家向け決算説明会の年 2 回以上の開催
- ・ 機関投資家とのスモールミーティング、1 on 1 ミーティングの実施

3. 上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

2024 年 2 月末時点においても、「流通株式時価総額」がプライム市場の上場維持基準を充たしておりません。これまでの状況を踏まえ、次のとおり、課題達成に向け、全力で取り組んでまいります。

① 事業の成長及び収益力の強化

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Lite」、「BizRobo!mini」で新規顧客への「BizRobo!」の新規導入を推進し、ユーザー数の拡大を図り、ライセンス売上のストック収入の拡大を図ります。また、「RoboRobo」は、「RoboRobo コンプライアンスチェック」を中心に有料ユーザーの獲得を進め、リカーリングレベニューの拡大を図るとともに、新たなサービスの立ち上げも進めて参ります。

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材、エンターテイメント等の既存分野のシェア拡大に加えて、新たな業界への参入、取扱シェアの拡大に取り組み、事業の拡大を進めて参ります。

以上を踏まえ、当社グループの次期業績見通しにつきましては、売上高 7,200 百万円（前年同期比 16.8%増）、営業利益 650 百万円（前年同期比 25.0%増）、経常利益 570 百万円（前年同期比 116.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 360 百万円（前年同期比 116.8%増）を見込んでおります。

② 株主還元施策の強化

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の充実は、株主価値を高めることにつながる重要な経営施策の一つであると考えております。長期にわたる安定的な経営基盤の確保や将来の事業拡大のために必要な内部留保の充実を図りつつ、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。第 25 期事業年度の剰余金の配当につきましては、競争力強化と更なる成長のために無配とさせて頂いております。

株主還元施策につきましては、継続して検討していくべき事項であると認識しており、株主の皆様への利益還元の機会を充実させる観点から配当の実施について検討を進めてまいります。

③ 流通株式比率の向上

「流通株式比率」の安定的な水準を維持するため、当社株式を保有している大株主に対し、当社より各大株主が保有している当社株式の取引市場での売却を依頼する等、株主還元施策と合わせた資本政策の実施を継続検討してまいります。

④ IR・PR 活動の充実

当社事業の強みや事業方針、将来における成長可能性を評価いただくことで、より多くの投資家に当社株式への投資を検討いただけるよう、以下の取組みを中心として IR・PR 活動の充実を図ってまいります。

- ・ 決算説明資料、株主総会招集通知及び適時開示資料等の英文開示
- ・ ホームページ等における IR コンテンツの拡充
- ・ 当社グループの PR 情報その他の任意開示事項の積極的な情報発信
- ・ 機関投資家向け決算説明会の年 2 回以上の開催

- ・ 機関投資家とのスモールミーティング、1 on 1 ミーティングの実施
- ・ 個人投資家向け IR イベントの開催

以 上